令和7年度 第1回視聴覚センター運営委員会 摘録

○日 時 令和7年7月31日(木) 午前10時～午前11時15分

○場 所 京都市生涯学習総合センター 3階 会議室

○出席委員 金柁 純子 委員
久保 泰雄 委員
坂口 多恵 委員
佐藤 卓也 委員
中西 茂郎 委員
日吉 肇 委員
船津 雄貴 委員 ※五十音順

○欠席委員 笹山 文美代 委員

○傍聴人 なし

○議事内容

1 開会

摘録署名人に日吉委員長を選出

2 議事

議題1 令和6年度事業実施状況について

事務局から令和6年度の事業実施状況の報告が行われた。

議題2 令和7年度事業計画について

事務局から令和7年度の事業計画の報告が行われた。

議題3 視聴覚センター及び諮問機関のあり方について

事務局から視聴覚センターの現状や取り巻く環境の変化に関して報告が行われるとともに、「今後、学校等の情報化の更なる進展が予測されるため、運営委員会を一旦休止し、教育委員会において総体的にセンターや諮問機関の在り方を検討したい」との提案があった。

3 意見交換

議題について、事務局からの報告・提案をもとに意見交換が行われた。

【委員からの主な質問や意見】

●は委員の発言、→は事務局の発言

- デジタルカメラの貸出は、予約でいっぱいになる時期もあるため、WEB上で予約状況が確認できるようになればよいと思う。また、各校が修学旅行だけのためにデジタルカメラを確保することは困難なので、貸出は続けてほしい。
- 昨年度、新たに7台購入した。一定のニーズがある既存事業は、できる限り継続していく予定である。
- 運営委員会の休止中、意見収集はどのように行うのか。
- 研究会や関係団体などから個別に意見を聞きながら、事業を進めていく。
- 今後の視聴覚事業は、学校のGIGAスクール構想の進展状況も踏まえ、総体的に検討していくことが必要である。
- 視聴覚センターは、学校の取組と連動しており、学校のニーズの把握に努めると共に、GIGAスクール構想の担当部署との連携も検討していく必要があると考えている。また、社会状況が大きく変化する中、生涯学習施設も含めた公共施設の在り方を総体的に考えていく時期にきていると認識している。
- アスニーシネマの参加者が昨年度から増えている要因は何か。
- チラシの配付・配架など、小さな積み上げの結果と考えている。また、令和6年度から、映画好きが集まるサークルが、アスニーシネマの情報発信をしており、来場者の増加につながっている。
- 親子や友達同士で映画を観ることは、子どもたちにとって良い機会であるので、キッズシネマは続けるべきである。
- 最近、人権啓発映画試写会に参加し、今まで知らなかった映像作品に触れることができ有意義であった。教職員とPTA役員が対象であるが、対象を広げたら良いと感じた。
- 視聴覚センターの催しは、どのように広報しているのか。
- ホームページで広報するほか、京都アスニーが発刊している「まなびすと」に案内を掲載している。「まなびすと」は、市営地下鉄の駅や図書館などの公共施設に配架いただいている。
- ノートパソコンは、PTA単位でも借りられるのか。
- 団体登録すれば、借りることができる。
- 私立幼稚園の教員が、視聴覚センターを身近に感じて利用できるような方法があれば良いと思う。
- 忙しい保護者は、情報を取りにいくのが難しい。学校で活用されている保護者連絡ツールなどを活用して、情報を配信していくことが有効だと思う。
- 有効な広報の在り方については、京都アスニーの事業全体にまたがる課題と認識しており、ご意見を参考に取組を進めていきたい。
- センターの事業は、学校の取組とも連動しており、事業内容を変更する場合、校長会などを通して、学校に周知することが必要である。
- これまで委員の皆様からいただいた意見も踏まえ、今後、センターの在り方の検討を進めていく。引き続き、センターの活動にご協力をお願いする。